

第2回交流学習会 パネリスト



猪飼周平氏（一橋大学大学院 社会学研究科教授）

1971年 京都府生。

東京大学経済学部卒業、同大学院博士課程修了（経済学博士）

2001年 佐賀大学経済学部専任講師、同助教授

2007年 一橋大学大学院 社会学研究科准教授

2013年 一橋大学大学院 社会学研究科教授。

<専門：ヘルスケア政策・社会政策・社会福祉・比較医療史>

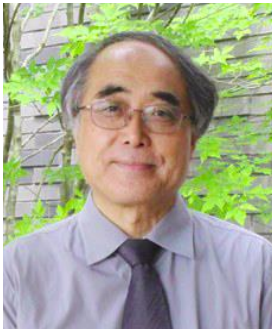
■著書

『病院の世紀の理論』（有斐閣、2010年）

「「制度の狭間」から社会福祉学の焦点へ：岡村理論の再検討を突破口として」

『社会福祉研究』 通巻122号，pp. 29-38，鉄道弘済会（2015年4月）

「ケアの社会政策への理論的前提」『社会保障研究』1巻1号，pp. 38-56，2016年



伊藤公雄氏（京都大学名誉教授・大阪大学名誉教授／

一般社団法人ホワイトトリボンキャンペーンジャパン共同代表）

1951年生まれ。

京都大学文学部卒業、同大学院博士課程学修退学

イタリア政府給費留学生としてミラノ大学政治学部留学。

神戸市外国語大学外国語学部助教授。

大阪大学人間科学部助教授・教授、京都大学文学研究科・文学部教授。

2017年 京都大学名誉教授・大阪大学名誉教授。

・内閣府男女共同参画会議専門調査会委員、同男女共同参画の将来像検討会座長代理、国連人口基金東京事務所アドバイザーコミッティ委員、など数々の役職を歴任。

・現在、日本学術会議会員、独立行政法人国立女性教育会館監事、日本イタリア会館常務理事、京都府・大阪府・滋賀県の男女共同参画審議会会長、一般社団法人ホワイトトリボンキャンペーンジャパン共同代表などをつとめる。

■著書

『「男女共同参画」が問いかけるもの』『男性学入門』『ジェンダーの社会学』『「男らしさ」という神話』など。

共著：『女性学・男性学』『男性の非暴力宣言』『国家がなぜ家族に干渉するのか』など。